

会 議 録 (1)

会 議 の 名 称	令和元年度（第2回）入間市国民健康保険運営協議会
開 催 日 時	令和2年1月28日（火） 午後2時00分開会・午後2時40分閉会
開 催 場 所	入間市役所 B棟 5階 全員協議会室
議 長 氏 名	松下庄一
出席委員（者）氏名	1号委員 荒岡真由美、齋藤大治、齋藤めぐみ、 晝間達夫（会長代理） 2号委員 粕谷光由、澤田壽一、村下紀明 3号委員 梶島隆富、築地芳枝、中林誠一、松下庄一（会長） 4号委員 佐瀬満雄
欠席委員（者）氏名	1号委員 中沢茂樹 2号委員 寺師良樹、宮城公子 3号委員 永田雅良 4号委員 齊藤仁、望月隆徳
説明者の職氏名	議事 (1) 令和元年度入間市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）（案）について 坂田主幹 (2) 令和2年度入間市国民健康保険特別会計当初予算（案）について 坂田主幹 その他 (1) 報告事項 ① 赤字削減・解消計画について 坂本主幹 (2) 連絡事項 ① 令和2年度の会議について 坂田主幹
会 議 次 第 (公開・非公開の別)	別紙「会議録（2）」のとおり（公開）
非 公 開 理 由	
傍 聴 者 数	0人
配 布 資 料	別紙のとおり
事務局職員職氏名	市 長 田中龍夫 健康推進部長 宮岡実 健康推進部次長 近藤健司 国保医療課長 村田雄一 国保医療課主幹 坂田誠、坂本満 国保医療課副主幹 須田香織

	収 税 課 長 豊泉兼一 債権回収対策室長 岩崎聡 健 康 管 理 課 長 石原健二 地 域 保 健 課 長 須田美菜子
会議録作成方法	要点記録

会 議 録 (2)

議事の概要 (経過) ・決定事項

- 1 開会 (司会)
- 2 会長あいさつ (松下会長)
- 3 市長あいさつ (田中市長)
- 4 議事 (議長：会長)
 - (1) 令和元年度入間市国民健康保険特別会計補正予算 (第2号) (案) について (事務局からの説明・質疑応答の後に全員了承)
 - (2) 令和2年度入間市国民健康保険特別会計当初予算 (案) について (事務局からの説明・質疑応答の後に全員了承)
- 5 その他
 - (1) 報告事項
 - ①赤字削減・解消計画について
 - (2) 連絡事項
 - ①令和2年度の会議について
- 6 閉会 (晝間会長代理)

会 議 録 (3)

発 言 者	発 言 内 容
<p>事 務 局 会 長 市 長 会 長</p>	<p>開会 (省略) 会長あいさつ (省略) 市長あいさつ (省略) 本日の出席委員は12名です。欠席は中沢委員、寺師委員、宮城委員、永田委員、齊藤仁委員、望月委員の6名です。よって、定足数に達しておりますので、会議を開催いたします。本日の会議の議事録署名委員は、1号委員から荒岡委員、3号委員から中林委員を指名します。 それでは、議事に入ります。 議題1、令和元年度入間市国民健康保険特別会計補正予算 (第2号) (案) について事務局より説明願います。</p>
<p>事 務 局</p>	<p>令和元年度入間市国民健康保険特別会計補正予算 (第2号) (案) について、説明いたします。 資料1をご覧ください。今回の補正予算は、主に、歳入予算では、国民健康保険税の賦課実績に基づく増額及び県支出金の収入見込みにより減額するものです。また、歳出予算では、保険給付費を支払実績に基づき減額するものです。補正後の予算総額を歳入歳出それぞれ153億2,157万4千円とするものです。 それでは、歳入予算の主な補正内容について説明いたします。資料の1ページ、2ページをご覧ください。 今回の第2号補正による補正額は、右側のページの左端の列、補正第2号の列に記載しています。その右側の列が補正後予算額となります。また、説明につきましては、網掛けをしてあります予算科目の「款」ごとに説明をさせていただきます。 まず、歳入予算ですが、(款1)国民健康保険税4,657万7千円の増額は、一般被保険者については、今年度の賦課実績に基づき増額し、退職被保険者等については、当初見込みよりも被保険者数が減少していることから、減額いたしました。 次に、(款3)国庫支出金141万5千円の増額は、東日本大震災の被災者の医療費に係る災害臨時特例補助金の申請に基づき、17万5千円を増額し、外国人の資格管理の更なる効率化等を図る為、国保システムの改修を行ったことに対する国の補助である国民健康保険制度関係業務事業費補助金申請に基づき、124万円を計上するものです。 (款4)県支出金2億3,554万4千円の減額は、医療費の実績に基づく減額に伴う普通交付金の交付額の見込みと、保険者努力支援交付金及び特定健康診査等に係る特別交付金の額の確定等による増額により、全体としては減額となるものです。 (款6)繰入金1億3,150万6千円の減額は、法定繰入金については、交付額の確定や決算見込みにより2,169万3千円の増額としました。法定外繰入金については、一般会計の財政状況に配慮し、国民健康保険財政調整基金の残高が4億9千万円あることから、法定外繰入金を1億8,853万8千円減額し、国民健康保険財政調整基金で対応することとさせていただきました。基金残高については、後ほど令和2</p>

<p>会 長 会 長 会 長 事 務 局</p>	<p>年度の当初予算の説明と一緒にさせていただきます。 次に資料3ページ、4ページをご覧ください。 (款8) 諸収入167万円の増額は、主に一般被保険者の滞納保険税に係る遅延金を収納実績に基づき増額するものです。歳入予算の説明につきましては以上です。 続きまして、歳出予算の補正内容について説明いたします。資料の5ページ、6ページをご覧ください。 (款1) 総務費314万6千円の減額は、委託料の額の確定等により、不用額を減額するものです。(款2) 保険給付費3億334万円の減額は、被保険者数の減少及び支払実績に基づき、減額を見込むものです。 次に資料7ページ、8ページをご覧ください。 (款5) 保険事業費526万1千円の減額は、主に被保険者の減少による人間ドックの受検者数の減少が見込まれることから、減額するものです。(款8) 諸支出金309万2千円の減額は、主に保険給付費等交付金返還金の額が確定したことにより、減額するものです。(款9) 予備費254万9千円の減額につきましては、歳入歳出額の差を調整するものです。補正予算(第2号)(案)の説明につきましては以上となります。 ご審議のほど、よろしく願いいたします。 何かご質疑等ございますか。 (質疑なし) 令和元年度入間市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)(案)については、ご了承いただいてよろしいでしょうか。 (意義なし) 議案のとおり了承します。 議題2、令和2年度入間市国民健康保険特別会計当初予算(案)について事務局より説明願います。 それでは、令和2年度当初予算(案)の説明をいたします。 資料2-(1)の1ページ、2ページをご覧ください。当初予算の概要、全体像になります。 円グラフで歳入、歳出予算の全体像を表したものですが、左のページが歳入、右のページが歳出になります。 まず、歳入についてですが、グラフを時計で例えますと、0時から2時半の部分が、歳入の根幹をなす国民健康保険税で、歳入予算全体の約21%を占めています。 次にグラフの2時半から11時過ぎの部分ですが、保険給付費を支払うために県から交付される交付金等で、全体の約73%を占めています。 次に、11時から11時58分までの部分、一般会計繰入金ですが、低所得者の保険税の軽減などに対する国・県からの補填金、いわゆる法定分の繰入金で、全体の約4%になります。 残る12時までは、国民健康保険財政調整基金からの繰入金約1%とその他の収入になります。 続きまして、右のページ、歳出についてですが、0時から8時半過ぎの部分が、市が保険者として、被保険者や医療機関に支払う医療費等の保険給付費で、歳出予算全体の約72%を占めています。 8時半過ぎから11時40分過ぎまでの部分は、県に納付する国民健康保険事業費納付金で、約26%を占めています。</p>
--------------------------------------	--

残る12時までの部分は、保健事業や事務に係る経費となります。
歳入歳出の総額は、歳入歳出それぞれ144億7,403万9千円を見込んでいます。前年度対比で7億3,877万円、率にして4.86%の減額となりました。

全体像についての説明は、以上です。

続きまして、歳入、歳出の主なものについて説明いたします。3ページ、4ページをご覧ください。

歳入予算についてですが、網掛けをしてあります科目「款」毎に説明いたします。左のページ、科目の次の列が令和2年度予算額、その次の列が令和元年度の予算額、右のページにある次の列が比較増減額となります。

(款1) 国民健康保険税30億7,077万3千円は、被保険者の減少などから前年度対比1,910万円、率にして0.62%の減額としました。また、収納率については、現年課税分は94.74%、滞納繰越分は28.36%を見込んでいます。

次に、(款4) 県支出金105億1,233万円は、前年度対比3億2,319万1千円の減額となります。これが、市が支払う医療費などに対して、交付される県の交付金であり、医療費の全額が県から交付されるものです。

(款6) 繰入金8億2,141万1千円のうち、6億2,440万6千円は、一般会計からの繰入金で、そのうちの法定分は、6億2,440万5千円です。法定外繰入金は、1千円を計上いたしました。前年度対比3億9,906万9千円、率にして32.70%の減額を見込みました。これは、先ほどご説明しました補正予算と同様に、例年、一般会計に助けてもらっているお金ですが、一般会計の財政状況に配慮し、国民健康保険財政調整基金1億9,700万5千円を繰入れることで対応させていただくこととしました。国民健康保険特別会計においては、後ほど説明いたしますが、国民健康保険財政調整基金にある程度の余裕があることと、令和2年度の県に納める国民健康保険事業費納付金が、想定より約3億9,000万円の減額となったことによるものです。減額になった理由としましては、平成30年度に市町村が納めた国民健康保険事業費納付金に約40億円の過多があり、翌々年度の令和2年度に精算をするので減額となりました。

ここで、国民健康保険財政調整基金の残高について、資料3を基に説明いたします。平成30年度末の残高は、4億8,256万3,136円でした。令和元年度3月補正後の予算額は、国保特会への繰出額は、先ほどの補正予算での説明の通り、4億1,033万9千円で、積立額は3億8,558万6千円であることから、令和元年度末の基金残高は、4億5,781万136円になります。

次に令和2年度当初予算の国保特会への繰出額(基金からの繰入額)は、1億9,700万5千円で、それに預金利子である33万6千円を加えますと、基金残高は、太枠で囲みました2億6,114万1,136円になります。

以上のことから、令和元年度、2年度に国保特会への繰出しを行った後でも、令和2年度の繰出し額1億9,700万5千円と比較して、2億6,114万1,136円の残高があることから、ある程度の余裕が

<p>会 長</p> <p>会 長</p> <p>会 長</p> <p>事 務 局</p>	<p>あるものと考えます。</p> <p>歳入予算の説明につきましては、以上です。</p> <p>続きまして、歳出予算について説明いたします。7ページ、8ページをご覧ください。</p> <p>(款1) 総務費7,891万2千円は、前年度対比1,413万3千円、率にして21.82%の増額を見込みました。主な増額の理由としては、令和3年3月から開始される加入保険のオンライン資格確認と令和2年8月から開始する被保険者証と高齢受給者証の一体化の実施に伴うシステム改修を行うための委託料を計上したことによるものです。</p> <p>(款2) 保険給付費103億6,824万1千円は、前年度対比3億8,843万6千円、率にして3.61%の減額を見込みました。これは、被保険者数の減少に伴い、医療費の減額が見込まれることから、減額となるものです。</p> <p>9ページ、10ページをご覧ください。</p> <p>(款3) 国民健康保険事業費納付金37億9,491万9千円は、前年度対比3億5,253万7千円、率にして8.50%の減額を見込みました。これは、県が示した秋の試算結果を基に計上した金額です。県の医療費等の支払いに係る入間市の負担分として県に収める、医療費分、後期高齢者支援金分、介護保険分の負担金になります。</p> <p>次に、(款5) 保健事業費2億482万円は、前年度対比924万2千円、率にして4.32%の減額を見込みました。これは、主に特定健康診査及び特定保健指導に係る費用が、対象者の減少見込みにより、減額になったことによります。保健事業については、引き続き、第2期データヘルス計画に基づき、被保険者の生活の質の維持・向上、健康寿命の延伸に取り組んでまいります。</p> <p>令和2年度当初予算(案)の説明につきましては以上となります。</p> <p>ご審議のほど、よろしくお願いいたします。</p> <p>何かご質疑等ございますか。</p> <p>(質疑なし)</p> <p>令和2年度入間市国民健康保険特別会計当初予算(案)については、ご了承いただいでよろしいでしょうか。</p> <p>(意義なし)</p> <p>議案のとおり了承します。</p> <p>以上で、本日の議事を終了いたします。ありがとうございました。</p> <p>これにて議長の任を解かせていただきます。事務局に進行をお願いいたします。</p> <p>それでは(1)報告事項につきまして、事務局より報告等させていただきます。</p> <p>①赤字削減・解消計画について、ご説明いたします。資料4をご覧ください。</p> <p>初めに、表の内容についてご説明いたします。</p> <p>まず、数字の見方ですが、赤字額を基本としていますので、▲が黒字表示となります。平成28年度の累計赤字額の欄は、2億5,641万8千の赤字額となります。右端の平成30年度の累計赤字額の欄では、▲9,747万8千円となっており、▲表示ですので黒字となります。</p> <p>それでは、赤字削減・解消計画についてご説明します。平成28年度</p>
---	---

	<p>及び29年度の決算における計画対象赤字額については、平成30年度当初予算において、赤字がない旨の説明をさせていただきました。</p> <p>また、平成30年度の計画対象赤字額については、平成30年度の決算が確定した段階でご報告する旨の説明を前回の協議会でさせていただきました。</p> <p>確定しました計画対象赤字額の状況については、下表のとおり平成30年度の赤字額は2,630万9千円の赤字額が発生しておりますが、単年度収支における黒字額1億8,118万9千円となっております。これは、税率改定等における効果があったもので、決算補填目的による赤字額から単年度黒字額を差し引き、累積赤字額は黒字の9,747万8千円となり、平成30年度決算においても計画対象赤字額は発生していません。</p> <p>以上のことから、裏面のとおり、令和元年8月に計画対象赤字額がない旨を県へ報告いたしました。</p> <p>なお、令和元年度以降についても、国が示す算定方法により、決算において再び赤字が生じ翌々年度の予算において赤字を削減・解消が出来ない場合は、赤字削減・解消計画書を策定しなければならないため、当協議会で協議していくこととなりますので、宜しくお願いします。</p> <p>以上になりますが、質問等ございますでしょうか。</p> <p>(質問なし)</p>
事務局	<p>続きまして、(2)連絡事項、令和2年度の会議について連絡させていただきます。</p>
	<p>前回、7月23日の協議会において、令和3年度以降の税率改定については、令和元年度の決算状況等を踏まえながら、令和2年度に当協議会にてご審議いただくということで、ご了承いただきました。</p>
	<p>令和2年度の会議については、令和元年度の決算状況等を踏まえ、協議会の開催日程を調整したいと存じますので、よろしく願いいたします。</p>
中林委員	<p>何かご質問等ございますでしょうか。</p>
	<p>協議会開催前に、協議会の資料を事前に送付していただいておりますが、資料の内容について説明等を添付していただければ、協議会当日に議論もしやすいと思いますので、検討をお願いします。</p>
事務局	<p>他にご質問等ございますでしょうか。</p> <p>(質問なし)</p>
事務局	<p>それでは、閉会のあいさつを晝間会長代理、お願いいたします。</p> <p>(晝間会長代理あいさつ)</p>
事務局	<p>ありがとうございました。</p> <p>以上をもちまして、本日の会議を終了いたします。ありがとうございました。</p>